

OXIDE

株式会社オキサイド

2024年2月期第3四半期 決算補足説明資料

(6521 東証グロース)

2024年1月12日

Copyright: 2024 OXIDE Corporation. All Rights Reserved.

決算補足説明資料に基づいて、ご説明させていただきます。

2024年2月期第3四半期実績

OXIDE

■ 売上高、営業利益共に当初予想を下回り未達となりました。

(単位：百万円)

	24/2期 第1四半期 (3月-5月)		24/2期 第2四半期 (6月-8月)		24/2期 第3四半期 (9月-11月)		24/2期 第3四半期累計 (3月-11月)		予想 と実績 差異 B-A
	予想	実績	予想	実績	予想	実績	予想 (A)	実績 (B)	
売上高	1,315	1,359	2,183	1,964	2,527	1,370	6,027	4,693	▲1,333
営業利益	▲229	▲48	90	▲40	215	▲541	76	▲631	▲707
(営業利益率)	▲17.4%	▲3.6%	4.1%	▲2.1%	8.5%	▲39.5%	1.3%	▲13.5%	-
研究開発費	242	193	256	239	289	281	787	714	▲72
設備投資額	—	979	—	278	—	452	—	1,785	—
EBITDA*	▲122	46	345	211	487	▲315	709	▲58	▲767

※ EBITDA：営業利益に償却費を加えた数値

まず最初に第3四半期の決算概要です。

売上高、営業利益共に当初予想を下回り未達となりました。

一部部材不具合の影響により半導体事業の売上高が確保できなかったことが主要因となります。

予想売上高を達成できず、46億9,300万円となりました。

このため、営業損失が拡大し、マイナス6億3,100万円となりました。

【半導体】3Q実績

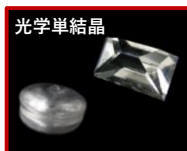
OXIDE

- 一部部材不具合の影響が3Qも継続し、当初予想を下回り未達となりました。

(単位：百万円)

	24/2期 第1四半期 (3月-5月)		24/2期 第2四半期 (6月-8月)		24/2期 第3四半期 (9月-11月)			24/2期 第3四半期累計 (3月-11月)		
	予想	実績	予想	実績	予想 4月開示	見通し 10月開示	実績	予想 4月開示	見通し 10月開示	実績
売上高	919	1,017	1,273	773	1,342	650	491	3,534	2,440	2,282

半導体ウエハ欠陥検査装置に用いる当社の製品群



イメージ写真：
半導体ウエハ欠陥検査装置



次に、事業ごとの状況をご説明いたします。

半導体事業について、第2四半期決算開示の際に第3四半期の売上見通しについてご説明しましたが、

今回、その見通しも下回り4億9,100万円となりました。

この原因は、一部部材不具合問題の改善に予想以上に時間を要しているためです。

この詳細は、次ページにてご説明いたします。

【半導体】部材不具合対応状況

OXIDE

- 現行ベンダー：不具合の物理的メカニズムを解明し、試作した改良版部材の性能検証を完了しました。しかし、ベンダーのエンジニアリングに問題があり、量産化の確立に予想以上の時間を要しております。

当社
ベンダー

現行ベンダー（改良部材）	23年/2月期(22年3月～23年2月)		24年/2月期(23年3月～24年2月)			
	上半期(1Q-2Q)	下半期(3Q-4Q)	1Q	2Q	3Q	4Q
不具合顕在化・ベンダーへの改善要求						
不具合の物理的メカニズム解明						
部材の設計変更・試作						
改良版部材の性能検証						
量産・長期信頼性評価						

- セカンドベンダー：当社設計に基づいた部材の量産化に成功し、高歩留まりで長期信頼性評価に合格しました。セカンドベンダー製部材を搭載した当社レーザを2024年1月中旬から順次出荷予定です。

セカンドベンダー	23年/2月期(22年3月～23年2月)		24年/2月期(23年3月～24年2月)			
	上半期(1Q-2Q)	下半期(3Q-4Q)	1Q	2Q	3Q	4Q
セカンドベンダー選定（マルチソース化）						
基本性能確認						
委託開発（部材設計・試作）						
歩留まり・長期信頼性評価						
部材量産と当社レーザの製造						

・ 現行ベンダーの不具合の物理的メカニズム解明
・ セカンドベンダーの優先度上げ試作を加速

出荷開始

Copyright: 2024 OXIDE Corporation. All Rights Reserved.

4

部材不具合の対応状況について、現行ベンダーとセカンドベンダーごとに、ご説明いたします。

まずは現行ベンダーの状況です。

第2四半期決算でご報告の通り、不具合の物理的メカニズムを解明し、試作した改良版部材の性能検証を完了しました。

しかし、ベンダーでのエンジニアリングに問題があり、量産技術の確立に至っておりません。製造工程の各種条件をひとつずつベンダーと検証しておりますが、予想以上に時間を要しております。

次に、セカンドベンダーの状況です。

こちらでは当社設計に基づいた部材の量産化に成功し、現時点では100%の歩留まりで長期信頼性評価に合格しました。

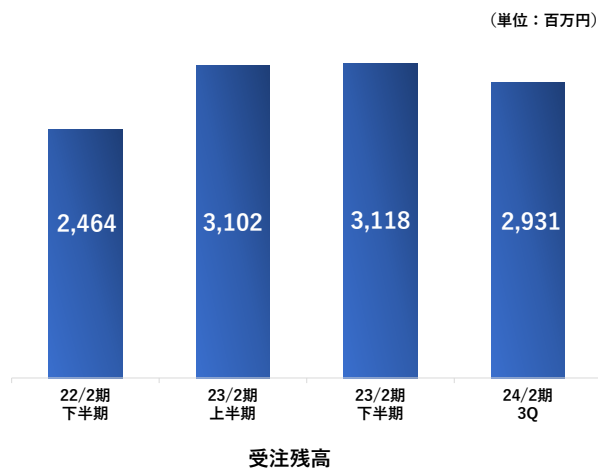
主要顧客からの認定を受け、セカンドベンダー製部材を搭載した当社レーザを2024年1月中旬から順次出荷予定です。

今後は、セカンドベンダーの部材をメインとし、現行ベンダーの部材を置き換えていく考えです。

今回の問題を教訓にリスク管理体制を強化し、サードベンダー・フォースベンダーなどのマルチベンダー化と内製化を進めております。

【半導体】受注残高

■ 受注残高は引き続き高い水準となっております。



半導体事業の受注残高についてご説明いたします。

部材の不具合問題は続きましたが、当社の最先端レーザは高い需要を維持しております。

現時点において顧客からのキャンセルはなく、受注残高は引き続き高い水準となっております。

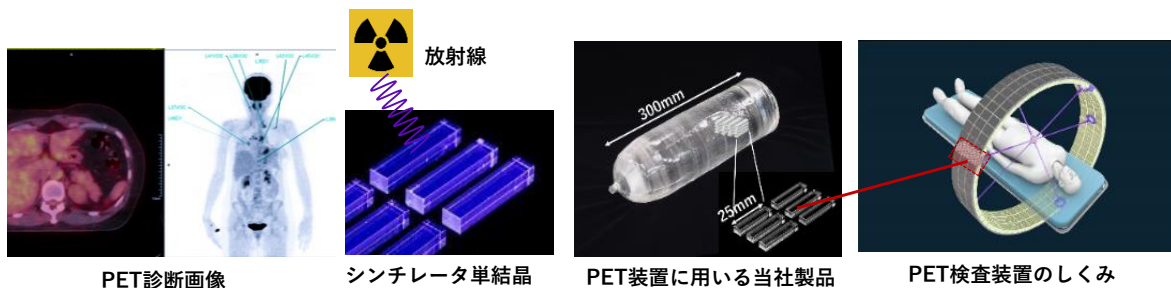
【ヘルスケア】3Q実績

OXIDE

■ 3Q累計は当初予想を若干上回りました。

(単位：百万円)

	24/2期 第1四半期 (3月-5月)		24/2期 第2四半期 (6月-8月)		24/2期 第3四半期 (9月-11月)			24/2期 第3四半期累計 (3月-11月)		
	予想	実績	予想	実績	予想 4月開示	見通し 10月開示	実績	予想 4月開示	見通し 10月開示	実績
売上高	296	245	368	597	528	440	371	1,193	1,282	1,214



Copyright: 2024 OXIDE Corporation. All Rights Reserved.

6

続いて、ヘルスケア事業についてご説明いたします。

売上高は第2四半期で一旦持ち直しましたが、第3四半期は当初予想および見通し共に下回り、3億7,100万円となりました。

但し、第3四半期累計では当初予想を若干上回りました。

【新領域】3Q実績

OXIDE

■ 3Q累計は、理化学用途向けの一部大型案件が延伸しており、当初予想に対し未達となりました。

(単位：百万円)

	24/2期 第1四半期 (3月-5月)		24/2期 第2四半期 (6月-8月)		24/2期 第3四半期 (9月-11月)			24/2期 第3四半期累計 (3月-11月)		
	予想	実績	予想	実績	予想 4月開示	見通し 10月開示	実績	予想 4月開示	見通し 10月開示	実績
売上高	100	96	541	594	657	675	506	1,298	1,365	1,197

主な取組分野

オキサイド

ライコル



Copyright: 2024 OXIDE Corporation. All Rights Reserved.

7

次に、新領域事業についてご説明いたします。

第3四半期の売上高は、理化学用途向けの一部大型案件が延伸し、予想を下回り、5億600万円となりました。

第3四半期累計でも予想に対し未達となりました。

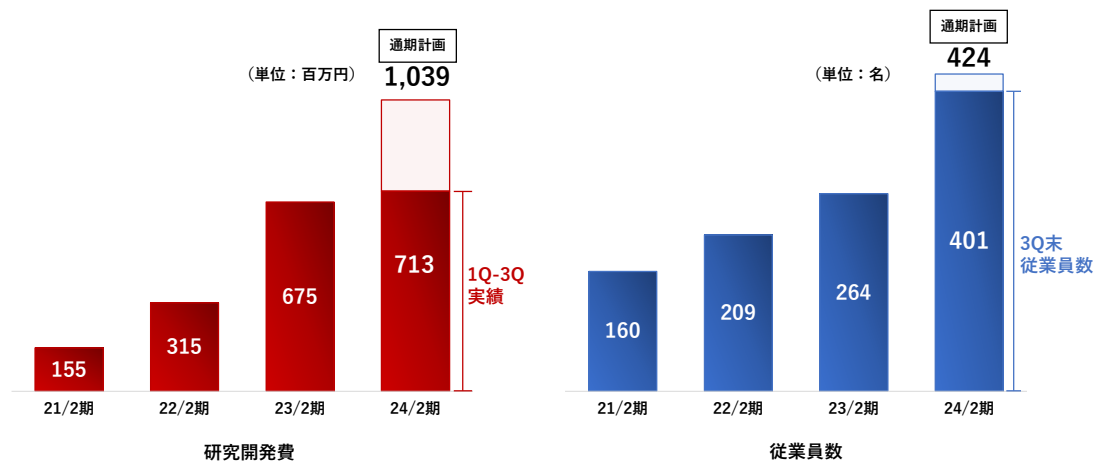
一方で、2023年3月のライコル社の子会社化により、当社事業ポートフォリオの拡大が進んでおります。

特に宇宙・防衛分野と量子分野の二つにおいて売り上げが伸びてきております。

今後さらに、オキサイド本体とのシナジー創出を加速して参ります。

【研究開発費・人員計画】

OXIDE



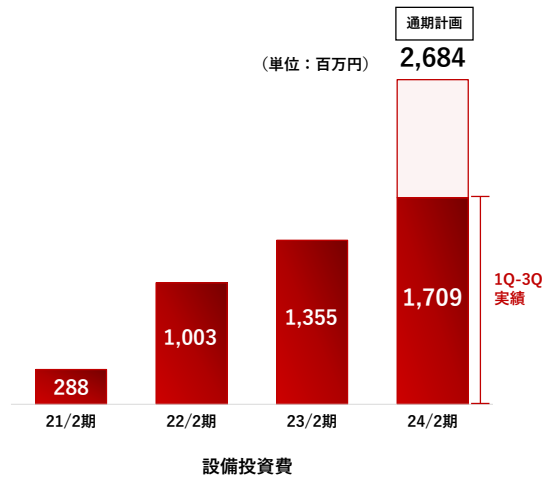
Copyright: 2024 OXIDE Corporation. All Rights Reserved.

8

続いて、研究開発費と人員計画についてご説明いたします。
主にパワー半導体分野へ研究開発費を投入し、3Q累計で7億1,300万円の実績です。
従業員数は連結ベースで、第3四半期末401名となりました。

【設備投資】

- 3Qまでの累計設備投資は17億900万円となりました。
主に半導体事業の第4工場とパワー半導体事業の第5工場への投資を行いました。



第4工場：深紫外レーザー増産



第5工場：SiC単結晶

次に設備投資についてご説明いたします。

第3四半期までの累計設備投資は17億900万円となりました。

主に半導体事業の第4工場とパワー半導体事業の第5工場への投資を行いました。

2024年2月期 通期業績予想の下方修正：単体

■ 2024年通期の業績予想は下方修正となります。

(単位：百万円)

	2023年2月期 単体	2024年2月期 通期(3月-2月)業績予想		
		前回予想 (4/14)	今回予想 (1/12)	増減率
売上高	5,752	7,294	5,128	▲29.7%
売上総利益	2,279	2,777	1,300	▲53.2%
販管費	1,742	2,095	2,052	▲2.1%
うち研究開発費	675	813	741	▲8.9%
営業損益	537	681	▲752	—
営業外損益	150	263	379	44.1%
経常損益	687	945	▲374	—

続いて、通期業績予想についてご説明いたします。

まずは単体の業績予想です。

売上高は当初予想のマイナス29.7%の51億2,800万円へ修正いたします。

このため、営業損益もマイナス7億5,200万円となる見込みです。

2024年2月期 通期業績予想の下方修正：連結

OXIDE

■ 2024年通期の業績予想は下方修正となります。

(単位：百万円)

	参考 2023年2月期 単体	2024年2月期 通期(3月-2月)業績予想		
		前回予想 (4/14)	今回予想 (1/12)	増減率
売上高	5,752	8,773	6,511	▲25.8%
売上総利益	2,279	3,554	2,024	▲43.1%
販管費	1,742	2,603	2,592	▲0.4%
うち研究開発費	675	1,039	1,003	▲3.5%
連結に伴う追加 費用	—	476	265	▲44.4%
営業損益	537	471	▲833	—
営業外損益	150	181	100	▲44.8%
経常損益	687	652	▲733	—

Copyright: 2024 OXIDE Corporation. All Rights Reserved.

11

次に連結の業績予想です。

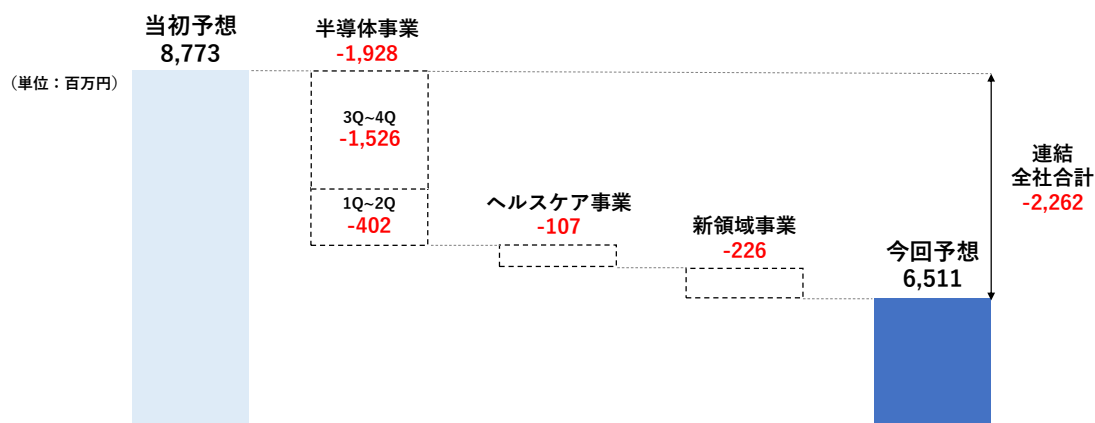
売上高は当初予想のマイナス25.8%の65億1,100万円へ修正いたします。

このため、営業損益もマイナス8億3,300万円となる見込みです。

2024年2月期 通期業績：売上高下方修正の主要因

OXIDE

- 2024年通期の業績予想下方修正の主要因は、半導体事業部材不具合問題の影響による売上高の減少です。
- 半導体一部部材不具合を3Q・4Qでリカバリー予定でしたが、ベンダーのエンジニアリングに問題があり、量産化の確立に予想以上の時間を要したのが原因です。



Copyright: 2024 OXIDE Corporation. All Rights Reserved.

12

通期売上高について、22億6,200万円の下方修正となる主な要因を説明いたします
半導体事業の減収が19億2,800万円です。

一部部材不具合を3Q・4Qでリカバリー予定でしたが、ベンダーのエンジニアリングに問題があり、量産化の確立に予想以上の時間を要したのが原因です。

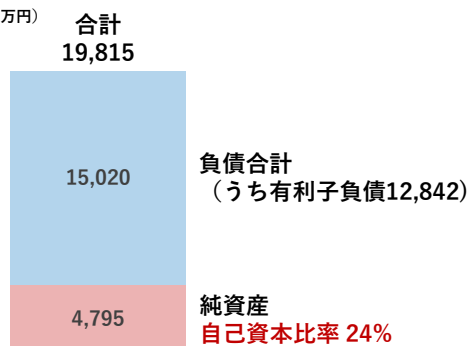
半導体事業以外では、ヘルスケア事業の減収が1億700万円、新領域事業の減収が2億2,600万円となります。

自己資本比率について

- 旺盛な資金需要に対し、取引金融機関と緊密な関係を構築し、株主資本のみならず借入金を活用しております。3Q末時点での自己資本比率は約24%です。
- 将来に渡る資金調達手段拡充の為に、自己資本比率の向上を含む財務体質の強化が必要と認識しております。

【3Q末バランスシート：負債純資産】

(単位：百万円)



次に当社の自己資本比率についてご説明いたします。

旺盛な資金需要に対し、当社では取引金融機関と緊密な関係を構築し、株主資本のみならず借入金を活用しております。

3Q末時点での自己資本比率は約24%です。

将来に渡る資金調達手段拡充の為に、自己資本比率の向上を含む財務体質の強化が必要と認識しております。

第三者割当：12月15日開示

OXIDE

- 2023年12月15日付でケーエルエー・テンコール株式会社（KLAグループの日本法人）を割当先とした第三者割当を取締役会決議し、2024年1月5日に払込が完了しました。
- 本第三者割当実施により自己資本比率は約38%となります。
- KLA社は米国NASDAQ上場企業で、2022年度の連結売上高約1.5兆円^{※1}、時価総額は約10.7兆円^{※2}です。

発行条件

- 発行株式数：950,000株
- 発行価格：2,959円（過去1か月終値平均価格から5.0%ディスカウントで価格決定）
- 払込金額：約28.1億円
- 希薄化率：9.45%

割当先選定理由

半導体検査装置におけるリーディングカンパニー

当社の光学技術を高く評価

2006年の出資以来戦略的パートナー関係

※1：2022年度連結売上高約104.9億ドルを、1ドル=145円で計算した参照値です。

※2：2024年1月5日時点の時価総額739.9億ドルを、1ドル=145円で計算した参照値です。

Copyright: 2024 OXIDE Corporation. All Rights Reserved.

14

財務体質の強化のため、KLAグループの日本法人であるケーエルエー・テンコール株式会社を割当先とした第三者割当を実施し、2024年1月5日に払込が完了しました。

払込金額は約28億1,105万円です。

KLA社は米国NASDAQ上場企業で、半導体検査装置におけるリーディングカンパニーです。2022年度の連結売上高約1.5兆円、2024年1月5日時点における時価総額は約10.7兆円です。KLA社は、当社の光学技術を高く評価しております。

当社とKLA社は、2006年にKLA社が当社へ資本参画して以来、18年に渡る長期間、戦略的パートナーとして、その関係を深めてまいりました。

KLA社は、世界の主要半導体メーカーに製品・サービスを供給していることから、半導体業界が将来必要とする製品の開発指針を当社に伝えることができる重要な立場にあります。



OXIDE

<https://www.opt-oxide.com>

ディスクレイマー

本資料は当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的として作成されたものではありません。
本資料に掲載されている事項は、資料作成時点における当社の想定及び所信に基づく見解であり、その情報の正確性及び完全性を保証または約束するものではありません。

実際の業績に影響を与えるリスクや経済動向、業界需要などの不確定要因を含んでいます。

当社の見込みと実際の業績は異なる場合があります。ご了承ください。

本資料に記載された金額は表示単位未満を切り捨て処理、比率は表示単位未満を四捨五入処理しているため、内訳の計が合計と一致しない場合があります。